

令和 6 年 9 月 19 日

団体名 ネパール献血者協会, 日本

代表者 サハ ラフル クマル

担当者 サハ ラフル クマル

「なは市民活動支援事業」

中間報告書

令和6年5月15日付け、那覇市指令市第688号で交付決定の通知を受けた当該事業について、現時点での進捗を下記のとおり報告します。また、市ホームページへの掲載を承認し、中間報告会で他団体とも内容を共有します。

1.事業名	外国人献血普及啓発事業～献血はいつでもどこでもだれでもできる～
2.実施内容	<p>【献血啓発イベントの開催】（1回/1回） ネパール献血者協会3周年記念イベント`命を分かち合う献血` 日時：6月14日（金）17時半～ 会場：県民広場 内容：ネパール献血者協会の活動報告、高校生ボランティアによる献血クイズ、缶バッジ作成・配布 設営：献血イベントチラシ500枚配布</p> <p>【献血イベントの開催】 日時：7月16,17日 9:30~11:30/13:00~16:30 会場：那覇市役所 参加人数：101名（うち外国人8名） ・さまざまな機関と連携し、献血イベントを開催する(沖縄県赤十字献血センター、Tamang Society) ・英語問診票を活用して献血案内(仮で作成した問診票活用) 使用備品：英語問診票、横断幕2枚、のぼり5本、ポロシャツ 後日：証明書発行</p> <p>【外国人への献血サポート】 日時：7月29日、8月6日 会場：くもじ献血ルーム、うるま市バス 参加人数：2名 ・英語問診票を作成し、外国人が献血する際のサポートをおこなう 使用備品：ポロシャツ着用、缶バッジ、英語問診票 □</p>
3.事業を一言で表現すると	問診票を多言語化し、外国人が献血をやりやすくすることで地域に住む外国人献血者を増加する。

	【良かった点】	【改善点・今後につなげる点】
4.これまでの活動の振り返り	6月のイベントでは、マイクで献血を呼びかけ、活動を報告するチラシを配布した。イベントの様子は新聞にも掲載され、7月の献血イベントにたくさんの人が献血に来てくれた。英語の問診票作成したことで、献血に際して受付などの手続きがスムーズに行われたこと。	一般的な日本人向けの受付は、タブレットを使って行われている。外国人もタブレットから多言語入力ができるよう、赤十字社に働きかけたい。
5.今後の活動予定 (事業期間内又はすでに終了した団体については次の予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用(作成中) ・パンフレットを使った広報活動(作成中) ・献血サポート ・献血イベントの開催 	
6.活動写真 (簡単な説明文を記入)	 <p>(献血啓発イベントの様子)</p>	 <p>(献血啓発イベントの様子)</p>
	 <p>(市役所での献血イベントの様子)</p>	 <p>(市役所での献血イベントの様子)</p>
7.今回の達成目標 (当初の事業計画書に記載した目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・献血啓発イベント開催 (1回/1回) ・献血イベント開催 (1回/3回) ・献血サポート (2回/6回) ・ホームページ作成・運用 (0件/1件) ・パンフレットを使った広報活動 (0ヶ所/設置30箇所) 	
8.現時点の目標達成度 (例: 60%達成)	40%	

*9月20日(金) 提出済

*提出方法: メールにて提出

*提出いただいた中間報告書は、ホームページにそのまま掲載予定です。枠を広げて構いませんが、2ページに収まるように記入して口ください。

*中間報告書は、報告会で参加者に配布予定です。この報告書をもとに発表していただいても構いません。